

事務事業名		佐野市地域保健協議会参画事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり				担当係	母子保健係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 心と体の健康づくりの推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 健康づくりの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	6906	一般	4	1	1	佐野市地域保健協議会参画事業				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業					
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S51年度～ 年度		根拠法令	条例等			
	任意の事業・義務的の事業		任意の事業							
	実施方法		直営							
事業分類		参画事業								
リーディングプロジェクト		該当なし								
市長マニフェスト		1-5								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
<p>地域保健の向上を図るため、健康課題を協議し、取り組んでいる佐野市地域保健協議会に参画して負担金を支出している。</p> <p>※佐野市地域保健協議会は、佐野市医師会、佐野市、県安足健康福祉センターで構成している。</p>		<p><市の活動> 佐野市地域保健協議会に負担金を支出した(申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、負担金支出)。総会並びに月例会議に出席し、各議題等について協議を行った。</p> <p><協議会の活動> 総会並びに月例会議の開催、中学生に対する性教育、健康カレンダーの作製、空間放射線量率測定、食品塩分測定等を行い、市民へ健康意識の啓発を行った。</p>					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
月例会議開催回数		回	12	11	11	12	12
月例会議出席者		人	57	51	51	60	60

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市人口	人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	市民が自分の健康状態を把握し、自主的に健康づくりに取り組むようにする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		実施した事業数	事業	14	15	13	15	15
		事業参加人数	人	1,438	1,458	1,501	1,600	1,600
		健康教室・健康相談等参加延べ人数	人	3,759	3,355	2,933	3,900	3,900

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

市民が、健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	健康づくりに取り組んでいる市民の割合(市政に関するアンケート)	%	73.8	75.8	73.6	77.0	78.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	600	600	600	600	600	
	事業費計(A)	千円	600	600	600	600	600	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金補助及び交付金	600	負担金補助及び交付金	600	負担金補助及び交付金	600
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	30	30	30	30	30		
人件費計(B)	千円	117	118	117	117	117		
トータルコスト(A)+(B)	千円	717	718	717	717	717		

事務事業名	佐野市地域保健協議会参画事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	母子保健係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和51年4月から旧安蘇郡市における地域医療圏の実態を調査し、安蘇郡市医師会、佐野市、田沼町、葛生町、佐野保健所の協力体制を確立して、地域保健の向上を図ることを目的として開始される。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	それぞれの市や町で地域にあった独自の事業を展開してきたが、合併に伴い、新市全体の健康課題に取り組むようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	取組事業の見直し、事業費の見直しを協議したが前年どおりの結果となった。
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	健康づくりの推進と情報の発信ができるように、地域保健の向上を図り、健康課題を協議し取り組むことは、市民に健康に対する正しい知識を深めてもらい、健康づくりに取り組んでもらうことに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民に対する健康づくりの推進と情報の発信は、市の役割と考えている。そのため、地域保健の向上を図り、健康課題を協議し取り組んでいる佐野市地域保健協議会に参画するのは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民が自分の健康状態を把握し、自主的に健康づくりに取り組むようになり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	取組事業を見直し、再検討することにより、成果を向上させる余地があると思う。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	取組事業を見直し、再検討することにより事業費の削減余地はあると思うが、参画している他の構成団体との協議が必要である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	この事業は、市民全体について考える事業であり、受益者は特定されないため負担の余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
市民に健康に対する正しい知識を深めてもらい、健康づくりに取り組んでもらうための事業なので、健康づくりに取り組んでいる市民の割合が100%になったときに事業は終了する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業のやり方改善(コストの見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>④⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	④⑥			維持			×	低下		×	×	取組事業の再検討と事業費の削減については、参画している他の構成団体との協議が必要である。
			コスト																							
		削減	維持	増加																						
成果	向上	④⑥																								
	維持			×																						
	低下		×	×																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										
④⑥取組事業を見直し、再検討することにより、成果向上と事業費削減の余地はあると思われる。																										